

【指導事例について】

ここでは、副教材に示された学習活動を参考とした2つの指導事例を紹介します。副教材と併せて、授業の展開やワークシートの作成・活用などの参考としてください。

指導事例 1 「選挙の実際」(副教材P.8~19)

特別活動（ホームルーム活動）や総合的な学習の時間において、生徒が実際の選挙の流れを実感でき、投票日に主体的に投票所に向かい、投票できるような実践的な知識を身に付けることをねらいとして実施します。その際、具体的な選挙運動の方法や、法律で禁止されている事項についても学習します。

1 展開例（1時間または2時間扱い）

ねらい	選挙の仕組みや選挙運動等について理解するとともに、選挙に対する関心を高める。		
過程	主な学習活動	指導上の留意点、評価（◆）	備考
導入	<p>【問い】実際に選挙で投票するに当たって不安なことは何だろう。</p> <p>○ 選挙権を行使するに当たって不明な点や不安な点をワークシートに記入する。</p> <p>○ グループでワークシートに記入したことを発表し合う。</p>	<p>・不明な点や不安な点を整理させることにより、選挙についてどのようなことを調べる必要があるのかを考えさせる。</p>	<p>□副教材P.32~37(※「話し合い、討論の手法」)</p> <p>■指導資料P.17~18、P.23~26</p>
	<p>【問い】私たちが関わる選挙にはどのようなものがあるのだろう。</p> <p>○ 選挙の種類や定数などを、副教材P.9を参考にワークシートにまとめる。</p>	<p>・公民科での学習内容も確認させる。</p> <p>◆自分たちに関わりのある選挙の種類などについて理解している。【知識・理解】</p>	<p>□副教材P.9</p> <p>■指導資料P.17~18</p>
展開	<p>【問い】投票はどのような手順で行うのだろう。</p> <p>○ 投票の手順や方法などを、副教材P.14~18を参考に確認する。</p>	<p>・国政選挙では複数の種類の投票用紙に記載するなど具体的な内容を理解させる。</p>	<p>□副教材P.14~18</p> <p>■指導資料P.17~18</p>
	<p>【問い】選挙運動としてどのようなことができるのだろう。</p> <p>○ 選挙運動としてできる活動とできない活動を副教材P.12~13及びP.94~100を参考にワークシートにまとめる。</p> <p>○ まとめた内容をグループ内で発表し合い、意見交換を行いながら整理する。</p> <p>○ 教師による補足説明により、選挙運動についての内容を確認する。</p>	<p>・違法な選挙運動を行わないためにも重要な学習であることを理解させる。</p> <p>◆実際に選挙に関わることを想定して、意欲的に選挙運動について調べ、選挙への関心を高めている。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>	<p>□副教材P.12~13、P.94~100</p> <p>■指導資料P.17~18、P.48~52</p>
まとめ	<p>○ 実際の選挙について、今まで分からなかったことや気付いたことについて、グループ内で話し合い、ワークシートに記入する。</p>	<p>・他者の感想や気づきを参考として、各自の考えを広めさせる。</p> <p>・選挙の仕組みや選挙運動などについて、ウェブサイトなどを活用して、各自で調べるよう促す。</p>	<p>□副教材P.103</p>



※ 話し合いや討論を積極的に取り入れながら進行します。話し合いや討論についての参考ページは、副教材の32~37ページ、指導資料の23~26ページです。

2 ワークシートの例

1 実際の選挙において投票することに対して、分からないことや不安なことを挙げてみよう。		活用上の留意点				
	自分が思ったこと		他の生徒が思ったこと			<p>○ まず、各自で思いついたことをワークシートに記入し、その後、グループ内で交流する。交流によって、他の生徒の考えを参考として、新たな気づきを発見するよう促す。</p>
2 選挙の種類などをまとめよう。						
(1) 国の選挙						
	選挙の種類	選挙区数	定数	被選挙権	任期	<p>○ 話し合いを行うに当たっては、副教材P.32～33に記載のある「話し合いの基本」を確認させ、話し合いが充実するよう指導する。</p>
衆議院議員総選挙	小選挙区選出					
	比例代表選出					
参議院議員通常選挙	選挙区選出					
	比例代表選出					
(2) 地方の選挙						
	選挙の種類	選挙区数	定数	被選挙権	任期	<p>○ 「現代社会」または「政治・経済」のほか、中学校の公民的分野で学習している内容について、事前に家庭学習での課題としてまとめさせておき、全体場で確認するという進め方も考えられる。</p>
3 選挙運動としてできることとできないことをまとめよう。						
	できること		できないこと			<p>○ 具体的な選挙運動の方法や法律で禁止されている事項については初めて学習する場合もあると思われるので、副教材P.12～13とともにP.94～100も併せて取り扱うなどの工夫を図る。</p>
4 本日の学習で気付いたことなどをまとめよう。						
	気付いたこと 分かったこと など		他の生徒の感想などで 印象深かったこと			<p>○ 意見交換により、他の生徒の考えを参考として、選挙について考えを深めたり選挙への関心を高めたりするよう促す。</p>

3 本事例の工夫点

- 導入の段階で、実際の投票における不安や不明な点を確認し、選挙や投票の学習においてどのようなことを学ぶ必要があるのか明確にさせる。
- 他の生徒と学び合う活動など言語活動による協働的な学びに取り組ませる。
- ウェブサイト等の活用を促すことなどにより、自ら学ぶ意欲と態度の育成を図る。

指導事例 2 「模擬選挙『未来の知事を選ぼう』」(副教材P. 52~57)

総合的な学習の時間や特別活動において、模擬選挙を通じて選挙や政治に関心を持たせ、個人として現実の政治的課題を把握し、深く考え、判断する力を育てるとともに、投票前にホームルーム等で議論を行うことにより考えを深めさせます。また、地方自治に関わるテーマ設定を行うことにより、身近な課題を題材に学習を行います。

1 指導計画例

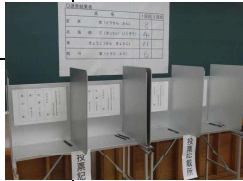
【ねらい】選挙の仕組みや投票の方法などを体験的に学ぶとともに、政治的な課題に対する判断力を養う。

月	活動	授業等	内容	評価の観点			
				関	思	技	知
8	個人学習(本時①)	総合的な学習の時間	新聞記事等から地域の課題を3つ挙げる。			●	
	グループ学習(本時②)	総合的な学習の時間	地域の課題として考えたことをグループで協議する。		●		
9	候補者の評価表作成	ホームルーム活動	立候補者の政策と自分の意見を比較し、候補者を評価する。		●		
	合同個人演説会(または政見放送上映会)、投票・開票	学年集会	候補者の演説を聞き、投票の判断材料とする。演説を聞いた後に投票、開票を行う。		●		
	振り返り	ホームルーム活動	学習全体を通して感想や考えたことなどをまとめる。	●			

2 本時①②の展開例

本時①のねらい		地域の課題に関する諸資料を収集し、情報を取捨選択してまとめる力を身に付ける。		
過程	主な学習活動	指導上の留意点、評価(◆)		備考
導入	○ 模擬選挙のねらいや活動の流れを確認する。			□副教材P. 50~57
展開	【問い】地域の課題としてどのようなことが挙げられるだろう。			■指導資料P. 35~43
	○ インターネットや新聞等から自分の考える地域の課題を3つ選択し、選択理由、課題の現状、自分の意見をワークシートに整理する。	・図書館やパソコン教室等を利用し、諸資料を収集し有用な情報を選択させる。 ◆地域の課題について様々なメディアを通して情報を収集し、有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。【技能】		
まとめ	○ 次時のグループ学習の展開を確認する。	・時間内に作業できなかった場合は、グループ活動の時間までの課題とする。		

本時②のねらい		地域の課題についてのグループ協議を通して、自ら考え、判断する能力を育てる。		
過程	主な学習活動	指導上の留意点、評価(◆)		備考
導入	○ 模擬選挙の実施に向けて本時では地域の課題を協議することを確認する。			□副教材P. 50~57 ■指導資料P. 35~43
展開	【課題】グループで意見交換し、地域の課題を3つにまとめよう。			□副教材P. 32~34(※「話し合い、討論の手法」) ■指導資料P. 23~26
	○ 前時にまとめたワークシートの内容をグループ内で発表し合い、課題を共有する。	・グループに分かれ、ブレインストーミングの手法により、それぞれの課題の現状についての意見を出し合い、各自の考えを補足、整理させる。(KJ法を用いてもよい。)		

	○ それぞれの課題の現状などについて意見交換し、各自の考えを補足・整理し、ワークシートに加筆等を行う。	・時間によってはテーマの数を絞る。 ◆他の生徒の意見を参考に、自分の考えを補足、整理している。【思考・判断・表現】	
まとめ	○ グループごとに話合いの状況を発表し、ホームルーム全体でどのような課題が提示されているのかを共有する。	・参考となる意見等があれば、各自のワークシートの補足・整理に活用させる。	

3 ワークシートの例

<p>1 図書館、インターネット、新聞等から、あなたが考える地域の課題を3つまとめよう。</p> <p>課題(1)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>①この課題を選択した理由</p> <p>②選択した課題に対するあなたの意見</p> <p>課題(2)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 グループ内で出された課題について、現状や意見を出し合おう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">【経 済】</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">【教 育】</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【 】</td> <td style="text-align: center;">【 】</td> </tr> </table>	【経 済】	【教 育】			【 】	【 】	<p>活用上の留意点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○ 図書館やパソコン教室等を利用し、個人で情報を収集し、自分にとって関心があること、自分の住む地域に関係が深いこと、自分の関係者と関わることなどの観点から、課題を3つに絞らせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○ 課題がまとめられない生徒に対しては、最近の出来事や自分の関心の高いものなどを考えさせるなど、まとめることができるよう助言する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ グループの他のメンバーが提示した課題に対する意見等を自由に出し合い、各自の意見等を補足・整理する。付箋紙を使って意見を書き出させ、KJ法によりまとめさせてもよい。</p> </div>
【経 済】	【教 育】						
【 】	【 】						

4 本事例の工夫点

- 政治的課題を把握させ、深く考え判断させるよう、生徒自らが調べ、まとめる活動を行う。
- 他の生徒と学び合う活動など言語活動による協働的な学びに取り組ませる。
- 生徒が身近な課題を題材に学習を行うことができるようにする。

「政治的教養を育む教育」を行うに当たっての留意点について

- 政治的教養を育む教育を行うに当たっては、政治や選挙の理解に加えて現実の具体的な政治的事象も取り扱い、生徒が有権者として自らの判断で権利を行使することができるよう、具体的かつ実践的な指導を行うことが重要です。
- その際、法律に則った適切な選挙運動が行われるよう公職選挙法等に関する正しい知識についての指導も重要です。
- 他方で、学校は、教育基本法第14条第2項に基づき、政治的中立性を確保することが求められるとともに、教員については、学校教育に対する国民の信頼を確保するため公正中立な立場が求められており、教員の言動が生徒に与える影響が極めて大きいことなどから法令に基づく制限などがあることに留意することが必要です。



- 学校においては、指導に当たっての留意点を、チェックポイントの形式でまとめるなどして確認することも有効です。



- 実践的な教育活動を行うに当たっての留意点をチェックポイントの形式で示した例（指導資料P. 20～22の留意点に基づき作成）

項 目	チェック欄 (○、×等を記入)
(1) 一つの結論を出すよりも結論に至るまでの冷静で理性的な議論の過程が重要であることを生徒に理解させるよう指導している。	
(2) 多様な見方や考え方のできる事柄、未確定な事柄、現実の利害等の対立のある事柄等を取り上げる場合には、生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示している。	
(3) 特定の見方や考え方に偏った取扱いにより、生徒が主体的に考え、判断することを妨げることはないよう留意している。	
(4) 教員の言動は生徒に与える影響が極めて大きいことから、教員が個人的な主義主張を述べることは避け、中立かつ公正な立場で生徒を指導している。	

- その他、指導における留意点については、次のページなども参考となります。

- ・ 指導資料P. 47～48

「模擬選挙の実施に当たっての配慮事項」

- ・ 指導資料P. 72～95

「指導上の政治的中立の確保等に関する留意点」

- ・ 副教材P. 90～102

「投票と選挙運動等についてのQ & A」及び「学校における政治的中立の確保」

